

ギネス世界記録達成を喜ぶ参加者＝岐阜市村里町、丸杉バドミントンアリーナ



バドミントンのラリーでギネス世界記録に挑むイベントが2日、岐阜市村里町の丸杉バドミントンアリーナで開かれた。同市拠点の女子プロチーム「岐阜Bluvic」に

ラリー129人、ギネス達成

岐阜市でバドミントン企画



慎重にラリーを繰り広げる参加者＝同

福島、廣田選手ら市民と挑む

所属する東京五輪女子ダブルス日本代表の福島由紀選手や廣田彩花選手らも市民に交じって参加。市民らは1人1打ずつ交代で打ち、ギネス記録を上回る129人がラリーに成功し、新記録を樹立した。

「慎重なラリー」を展開。一打一打に大きな歓声が上がった。最初の挑戦でいきなり129人を達成した。公式認定員から正式に記録が認められると、会場は歓喜に包まれた。

認定証が岐阜Bluvicの杉山幸輔社長に手渡され、全員で記念撮影し喜びを分かち合った。記録更新となる124人目で成功した済美高校バドミントン部顧問の佐藤絢音さんは「プレッシャーがすごくて緊張したけど、周りが盛り上げてくれて楽しかった」と笑顔で話した。

廣田選手は「正直難しいかなと思っていただけ、みんなの心が一つになった。ギネス世界記録の保持者になれると思っていなかったのうれし」と喜ぶ。同金庫の好岡政宏理事長は「この経験を糧に皆さん世界に羽ばたいてほしい」と話した。(玉田健太)